

# ボードレス・アート の ミュージアムNO-MAの とく 取り組みについて

しがけん しゃかいふくしじぎょうだん きかくじぎょうぶ  
滋賀県社会福祉事業団企画事業部

しょうがいしゃ げいじゅつかつどう しえん すいしん  
2013.6.11 障害者の芸術活動への支援を推進  
こんだんかい だい かい しりょう  
するための懇談会(第1回)資料

# のま ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

しがけん おうみはちまんし ふる みんか かいそう へいせい ねんかいがん  
滋賀県近江八幡市の古い民家を改装して平成16年開館



じょうめんげんかん  
NO-MA 正面玄関



かいてん じしつ おど さいぼう  
1階展示室「踊る細胞」  
てん じ ふうけい へいせい ねん  
展示風景（平成25年）



かいてん じしつ  
2階展示室  
「スーパー・ワールド・オン・ペーパー」  
てん じ ふうけい へいせい ねん  
展示風景（平成25年）

しょうがい う む こ ひと も ひょうげん  
障害の有無を超えて、人が持つ「表現をすること  
の普遍的な力」を感じていただく場  
⇒ひとりひとりが多様な価値観を認め、共有しあ  
える共生社会の実現に寄与する。

# 運営法人内におけるNO-MAの位置づけ

しゃふく しがけん しゃかいふくしじぎょうだん  
**(社福)滋賀県社会福祉事業団**

りじかい  
**理事会**

ほんぶ じむきょく  
**本部事務局**

ひょうぎいんかい  
**評議員会**

そうむぶ  
**総務部**

ふくし  
**福祉**  
けいえいぶ  
**経営部**

きかく  
**企画**  
じぎょうぶ  
**事業部**

とくべつようごろうじん じぎょうしょ  
**特別養護老人ホーム 2事業所**

ようごろうじん じぎょうしょ  
**養護老人ホーム 3事業所**

けいひろうじん じぎょうしょ  
**軽費老人ホーム 1事業所**

にんちしょうたいおうがた じぎょうしょ じぎょうしょ  
**認知症対応型デイサービス事業所 2事業所**

きゅうごしせつ じぎょうしょ  
**救護施設 1事業所**

しょうがいしゃしえんしせつ じぎょうしょ  
**障害者支援施設 6事業所**

しょうがいじにゅうしょしせつ じぎょうしょ  
**障害児入所施設 1事業所**

きょうどうせいかつえんじょ きょうどうせいかつかいご じぎょうしょ  
**共同生活援助・共同生活介護 5事業所**

しがけんちいきせいかつていちゃくしえん  
**滋賀県地域生活定着支援センター**

しがけんこうじのうきのうしょうがいしえん  
**滋賀県高次脳機能障害支援センター**

しがけんはつたつしょうがいしゃしえん ほくぶなんぶ  
**滋賀県発達障害者支援センター(北部・南部)※H25.7より**

**アール・ブリュット インフォメーション&サポートセンター**

**ボーダレス・アートミュージアムNO-MA**

# 運営法人内におけるNO-MAの位置づけ

## 本部事務局企画事業部

障害のある人の地域生活の推進を図るための先駆的サービスの  
実践・開発を軸に、誰もが安心して地域で暮らすことの出来るシス  
テムの構築を図ることを目的に平成 13 年度創設。

地域ケアサービス  
推進事業  
制度の狭間にあり  
支援の手が伸び  
ていない障害のある  
人への必要な福祉  
サービスをモデル的  
に実践する。

地域ケアシステム  
推進事業  
相談支援体制整備の  
改善と地域ケアシステム  
が円滑に継続運営さ  
れるよう、地域自立支  
援協議会の事務局体  
制及び委託相談支援  
事業者の活動を支援  
する。

芸術・文化促進事業  
障害のある人の生み  
出す表現の可能性を  
世に広く伝える場を作  
り、その魅力を発信す  
る。

てんらんかい      かいさい

# 展覧会の開催

---



の ま かいせつきねんきか  
NO-MA開設記念企画

わたし わたし

# 私あるいは私

しず ねん しょう けい

## [静かなる燃焼系]

へいせい ねん がつ にち がつ にち

平成16年7月3日～9月20日

いとう よしひこ いわさきつかさ しょたいみやがわ こうざん

伊藤喜彦/岩崎司/初代宮川香山/

たかみねただす もりむらやすまさ

高峰格/森村泰昌

の ま めいしょう

NO-MAの名称にもある、「ボーダレス・

てんらんかい はじ

アート」をコンセプトとした展覧会の始まり。

いこう ねんかん ほん き かくてん かいさい

以降、年間2～4本の企画展を開催。



わたし                      わたし てん じ ふうけい  
私あるいは私   展示風景





NOVA  
快の企画展  
老ヒテ  
マス  
過激ニナル

NOVA  
TEL: FAX: 07-68-36-5018  
http://www.nova.jp/  
no-m@nova.or.jp

2006年  
9月16日(土)～11月15日(木)  
月曜日休館  
祝日の場合は開館し平日次を休館  
開館時間：前日1時～午後6時

第2会場 田吉出陣  
開館時間：前日1時～午後6時

かい そうろう じん ろく

# 「快走老人録

お か げき

# 老ヒテマスマス過激ニナル」

へい せい ねん がつ にち がつ にち

平成18年9月16日～11月15日

かみおか やすたね お ばた まさ お かわ の さき こ

上岡安胤/小幡正雄/河野咲子/

とう ほん はやしだ みねいち みまつ まさ お

塔本シスコ/林田嶺一/三松正夫/

みやま えい じ ろう

宮間英次郎

いっ ぱん しょうがい さくしゃ  
一般のアーティストと障害のある作者とい

うことのみならず、「高齡」という切り口も  
こうれい き ぐち

くわ てん  
加えたボーダレス・アート展。



かいそう ろう じんろく てん じ ふうけい  
快走老人録 展示風景





だい かい し が けん し せつごう どう き かく てん てん じ ふうけい  
第9回滋賀県施設合同企画展 展示風景<sup>1</sup>

こく がい だん たい れん けい じ ぎょう

# 国外団体との連携事業

こく がい に ほん

ひろ

# 国外での日本のアール・ブリュットの広がり

---

び じゅつ かん

# アール・ブリュット・コレクション美術館(スイス)と

の ま れん けい じ ぎょう

# ボーダレス・アートミュージアムNO-MAとの連携事業

へいせい ねん ねん  
【平成18年～20年】

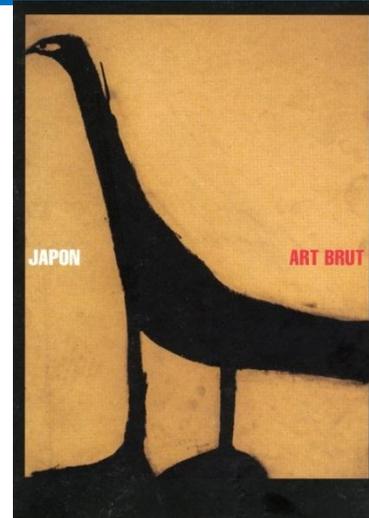


アール・ブリュット・コレクション  
し  
(スイス ローザンヌ市)

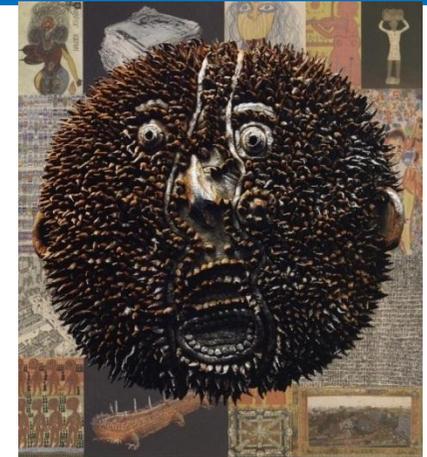
へいせい ねん かん ちょう らいにち こく ない さく ひん ちょう き など じっし  
平成18年 館長が来日し、国内の作品調査等を実施



へいせい ねん に ほん りょうこく き かく てん かい さい  
平成20年 日本、スイス両国で企画展を開催



スイス ローザンヌ



アール・ブリュット/交差する魂  
ローザンヌ アール・ブリュット・コレクションと日本のアウトサイダー・アート  
The Encounter Between the East and West Collection of l'Art Brut and Japanese Outsider Art

ほっかいどう し が とうきょう  
北海道、滋賀、東京

れんけい じ ぎょう  
この連携事業がきっかけとなり、  
の ま  
アール・ブリュットがNO-MAの  
じ ぎょう はしら ひと  
事業の柱の一つとなる。

ざい だん

れん けい

# アロイーズ財団(スイス)との連携

さく ひん

たいわ

こころ

やまい

ひょうげんしょうどう

かいさい

「アール・ブリュット作品との対話～心の病と表現衝動～」の開催

へいせい ねん がつ にち か がつ にち にち かいじょう の ま

平成21年2月3日(火)～5月10日(日) 会場:ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

どう てん どう きょう と

びじゅつかん

ほっかいどう

ほっかいどうりつ

あさひかわびじゅつかん

じゅんかい

※同展は、東京都(ワタリウム美術館)、北海道(北海道立旭川美術館)へ巡回



の ま かいじょう おとず

NO-MA会場を訪れるジャクリーヌ・

リジちょう か だし がけんちじ

フォレル理事長と嘉田滋賀県知事



し こう えん し が

ジャクリーヌ・フォレル氏の講演(滋賀)

び じゅつかん

てん らん かい

かい さい

# フランスの美術館での展覧会の開催

## アール・ブリュット・ジャポネ展<sup>てん</sup>

かい き へいせい ねん がつ にち へいせい ねん がつ にち

会期:平成22年3月24日～平成23年1月2日

しゅ さい し りつ び じゅつかん

主催:パリ市立アル・サン・ピエール美術館

しゅってんしやすう しゅってんさくひんすう にん とどう ふ けん てん

出展者数・出展作品数:63人(20都道府県)、778点



び じゅつかん  
オープニングパーティー(美術館エントランス)



てん じ よう す  
展示の様子



てん じ よう す  
展示の様子



し がい けい じ  
パリ市街に掲示されたポスター



かんらん しや すう やく まんにん<sup>15</sup>  
観覧者数:約12万人

の ま にほんじむきょく おも やく わり  
NO-MAの日本事務局としての主な役割

しゅってん さっか ちょうせい  
出展作家との調整

しゅってん さっか けんり ほご  
出展作家の権利保護

しゅってん さくひん ゆそう ちょうしよさくせい ほか  
出展作品の輸送（調書作成他）

にほんこくない こうほう  
日本国内での広報

- じっこう い いん かい そしき うんえい  
• 実行委員会の組織、運営
- こうしき うんえい はっこう  
• 公式サイトの運営、ニュースレターの発行
- じぜん てんらんかい かいさい ほか  
• 事前展示会の開催 他

きねんしゃしんしゅう しゅっぱん  
記念写真集の出版



しゅってんせつめいかい ぜんこく  
出展説明会（全国  
18か所34回実施）



ちょうしよ さくせい  
調書作成



だい かい じっこう い いん かい  
第1回実行委員会  
（2009. 7. 23）

こく ない ひろ  
国内でのアール・ブリュットの広がりに

---

# アール・ブリュットを扱う展覧会の増加

アール・ブリュット・ジャポネ  
展の国内巡回

へいせい ねんど  
平成23年度

- がつかい さいたまけんりつ きんだいびじゅつかん  
・4月 埼玉県立近代美術館
- がつかい にいがたし びじゅつかん  
・7月 新潟市美術館



へいせい ねんど  
平成24年度

- がつかい たかはまし さと  
・4月 高浜市やきものの里
- かわら美術館  
がつかい いわてけんりつ びじゅつかん  
・6月 岩手県立美術館



へいせい ねんど  
平成25年度

- がつかい こうちけんりつ びじゅつかん  
・4月 高知県立美術館
- がつかい ふくおかし びじゅつかん  
・10月 福岡市美術館
- がつかい くまもと しげんだい びじゅつかん  
・12月 熊本市現代美術館



アール・ブリュットをテーマ  
とした展覧会(一部)

へいせい ねんど  
平成22年度

- がつかい ふくおか びじゅつかん  
・3月 福岡アジア美術館
- がつかい とくきょう と せい  
・11月 東京都 都政ギャラリー



へいせい ねんど  
平成23年度

- がつかい せと うちしりつ びじゅつかん  
・8月 瀬戸内市立美術館
- がつかい やかた  
・10月 びんてまりの館



へいせい ねんど  
平成24年度

- がつかい はまつし びじゅつかん  
・6月 浜松市美術館
- がつかい ながの けんけんみんぶんか かいかん  
・8月 長野県県民文化会館





# アール・ブリュットネットワーク

平成25年2月10日設立

## 1 目的

美術、福祉、医療、研究機関、行政等の異なる分野や立場の人たちが連携して、アール・ブリュットを支える環境全体を底上げする。

## 2 役員

会長：青柳正規（独立行政法人国立美術館理事長・国立西洋美術館長）

副会長：末安民生（日本精神科看護技術協会 会長）

アール・ブリュットネットワーク 平成25年2月10日設立

## 3 会員数

541件（団体134件・個人407件）※平成25年5月17日現在

## 4 アール・ブリュットネットワーク設立記念フォーラム

アール・ブリュットネットワークの発足を記念し、設立記念フォーラムを開催。



発足式・設立記念フォーラム 320人が参加

かく じ ぎょう ささ と く  
各事業を支える取り組み

---

こくない さく ひん ちょうさ  
国内作品調査

と どう ふ けん くにん  
36都道府県143人 (平成18年度～24年度)

|      |     |     |     |
|------|-----|-----|-----|
| 北海道  | 9人  | 青森県 | 4人  |
| 岩手県  | 15人 | 秋田県 | 1人  |
| 山形県  | 3人  | 福島県 | 6人  |
| 茨城県  | 1人  | 栃木県 | 8人  |
| 群馬県  | 2人  | 埼玉県 | 1人  |
| 千葉県  | 1人  | 東京都 | 12人 |
| 神奈川県 | 1人  | 新潟県 | 3人  |
| 富山県  | 1人  | 石川県 | 1人  |
| 長野県  | 5人  | 愛知県 | 2人  |
| 滋賀県  | 16人 | 京都府 | 2人  |
| 大阪府  | 2人  | 兵庫県 | 5人  |
| 奈良県  | 1人  | 福岡県 | 4人  |
| 鳥取県  | 3人  | 島根県 | 1人  |
| 岡山県  | 1人  | 広島県 | 6人  |
| 徳島県  | 1人  | 香川県 | 1人  |
| 高知県  | 3人  | 長崎県 | 3人  |
| 熊本県  | 3人  | 宮崎県 | 1人  |
| 鹿児島県 | 3人  | 沖縄県 | 11人 |

NO - MA アートディレクターや  
福祉関係者、美術関係者に調査員を  
依頼。NO - MA や調査員のネット  
ワークから寄せられる情報等を基に  
制作現場を訪問調査。その結果は  
調査報告書にまとめられている。

こく がい さく ひん ちょう さ  
**国外作品調査**

かん こく たい わん  
**韓国、台湾**

かん こく へいせい ねんど  
**【韓国 平成21～22年度】**



せいぎんかん だいがく きょうじゆ じっけん  
 成均館大学教授のコレクションを実見(ソウル)



せいしん じよし だいがく びじゆつがく ぶ ちょう う あ  
 誠信女子大学美術学部長らと打ち合わせ  
 (ソウル)

たい わん へいせい ねんど  
**【台湾 平成23～24年度】**



たいほく し りつきょういくだいがく し かくげいじゆつけんきゆうじよ  
 台北市立教育大学 視覚芸術研究所  
 きょうじゆ き と ちょうさ たいほく  
 教授への聞き取り調査(台北)



さくしゃ ちょうさ ようす  
 アール・ブリュット作者の調査の様子  
 (台北)



しょうがいしゃげいじゆつせんもん たいちゆう  
 障害者芸術専門のギャラリー(台中)



こく りつ たいとうせいかつ び がく かんかんちょう き と  
 国立台東生活美学館館長からの聞き取り  
 (台東)

にっ かん ごう どう き かく てん かい さい へいせい ねんど

# 日韓合同企画展の開催(平成23年度)

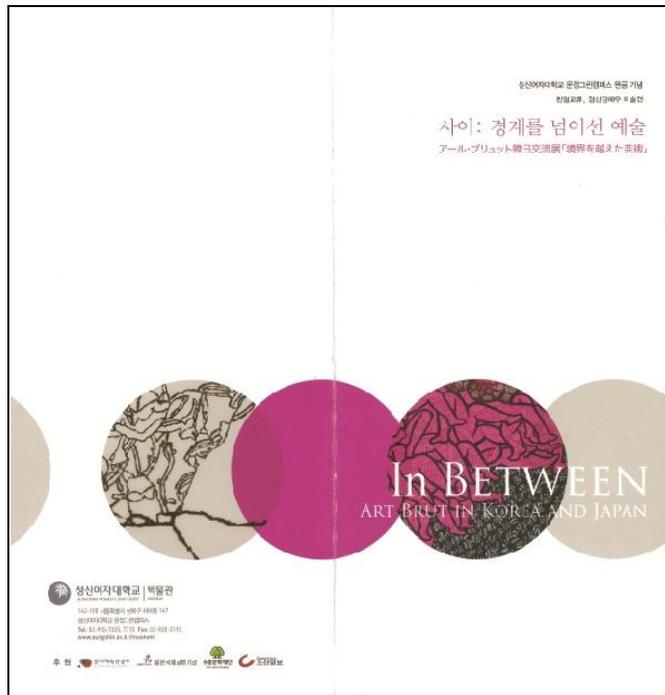
かん こく

韓国:「IN BETWEEN ART BRUT IN KOREA AND JAPAN」

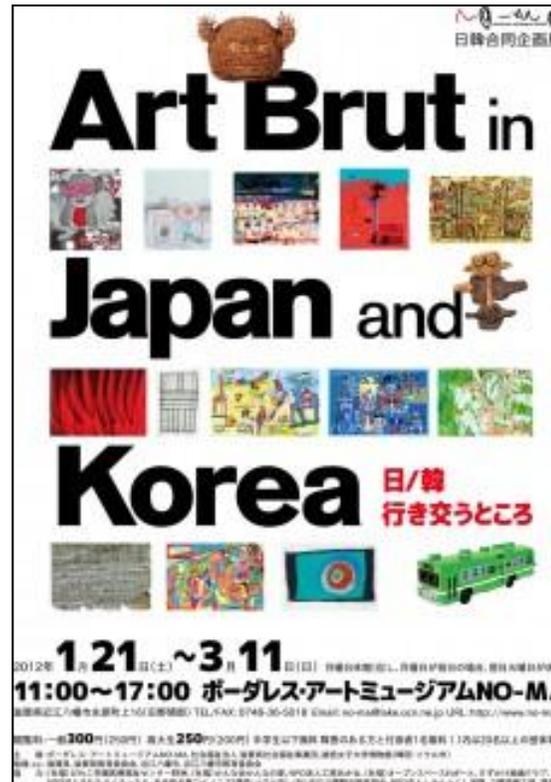
に ほん

にっ かん い か

日本:「Art Brut in Japan and Korea 日/韓 行き交うところ」



かん こく  
韓国 ソウル



しが けん  
滋賀県

さく ひん ちょう き  
作品調査をきっかけ  
 げん ち かん けい だん  
として現地の関係団  
 たい れん けい ごう どう き  
体と連携し、合同企  
 かく てん かい さい  
画展を開催。

# 作者の権利保護の取り組み

## 展覧会出展と成年後見制度

アール・ブリュット・ジャポネ展が契機となる

これまででは出展の意思を確認すること、ご自身での契約が難しい作者についてはご家族や所属施設・病院のスタッフから了解を得ていたがそれでは本人が契約したことにならないとの弁護士からの指摘。

美術館からの申し入れ

「出展にあたっては、作家個人と  
出展契約を締結する」

展覧会開催後に想定されること

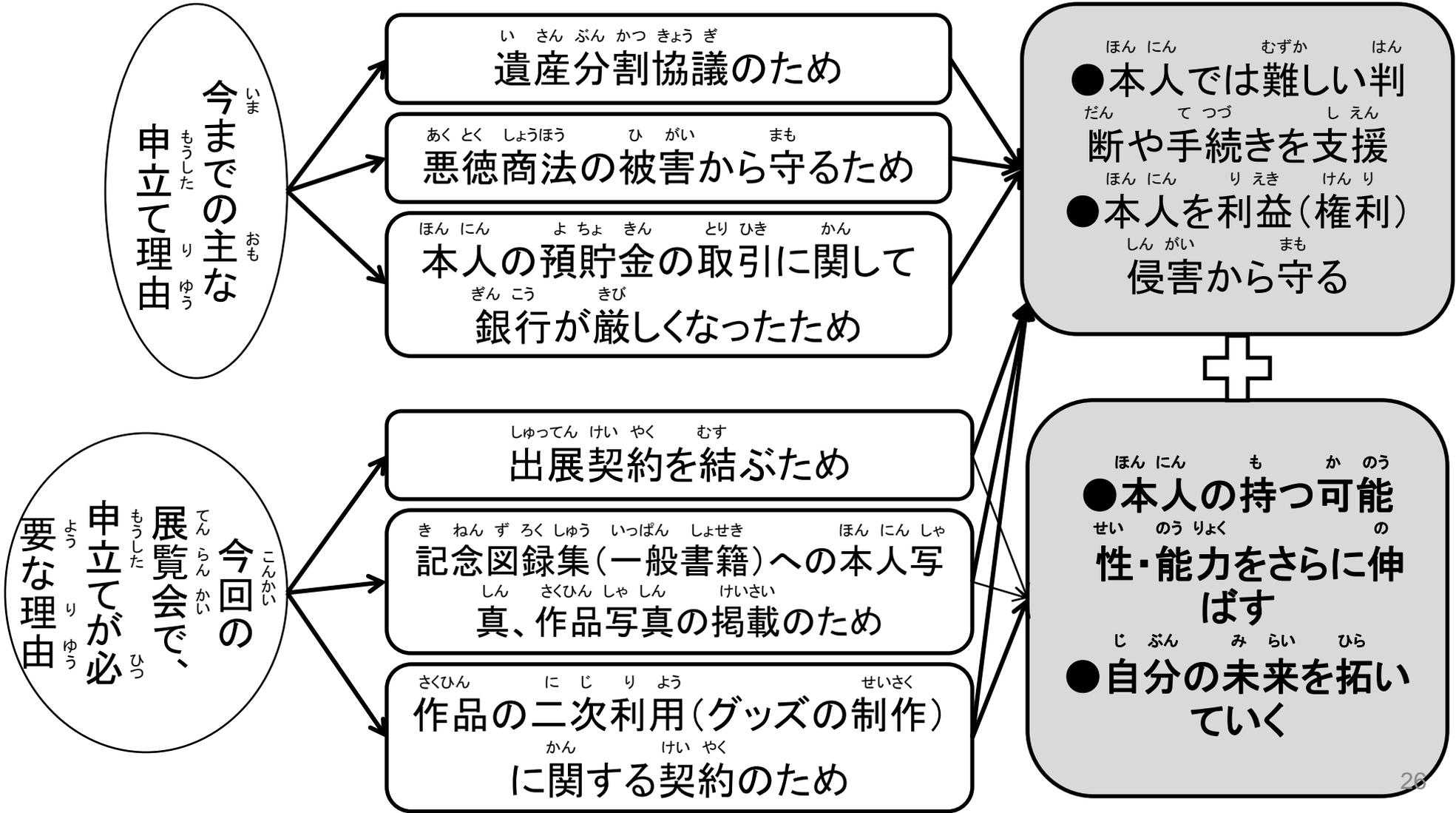
- 他の展覧会への出展依頼
- 作品の二次使用のオファー
- 作品の売買のオファー  
等の所有権・著作権に関すること

成年後見制度の活用

さくしゃ けんり ほご とく  
**作者の権利保護の取り組み**

てんらん かいしゅってん せいねん こうけん せいど かつよう いぎ  
**展覧会出展と成年後見制度活用の意義** (アール・ブリュット・ジャポネ展説明会資料)

てん せつめいかい しりょう



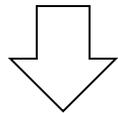
# 造形活動支援拠点の設置

「県内における造形活動の実施状況に関する調査」  
(平成 23 年 8 月滋賀県実施)

造形活動を行っている」と回答したのは 61 の障害福祉サービス事業所。

全体の 42 %。(※ 199 事業所中回答数 145 (回収率 73 %))

そのうち造形活動で行う上で「困っていることがある」と回答した事業所は 74 %。そのうち、56 %が「相談や情報交換ができる場」の設置を望んでいる。



この調査結果を受け、滋賀県の具体的取り組みとして

平成 24 年 6 月 **アール・ブリュット インフォメーション & サポートセンター(略称アイサ)** が滋賀県社会福祉事業団企画事業部内に開設される。

# よ そう だん ぶ ん る い アイサに寄せられた相談の分類

そう かつ どう すう かい へい せい ねん がつ へい せい ねん がつ  
(総活動数 203回 平成24年6月～平成25年3月)

## かつ どう アイサの活動キーワード

さく びん てん らん かい かん ひつ よう じょう ほう てい き よう  
「つくる」 作品をつくる、展覧会をつくるなどに関する必要な情報を提供

さく ひん しゅ っ て ん ぞう けい げん ぱ み さく しゃ しゃ かい  
「つながる」 作品を出展したい、造形現場を見てみたいなど作者と社会がつながることをサポート

「まもる」 作者の権利が保護され、安心して造形活動に取り組めるようサポート

## けん ない けん が い べ つ 【県内・県外別】

し が けん ない かい  
滋賀県内 105回

し が けん が い かい  
滋賀県外 98回

そう だん しゃ べ つ

## 【相談者別】

さく しゃ か ぞく どう かい  
作者・家族等 40回

しょう が い ふく し し せつ かい  
障害福祉施設 50回

くに じ ち たい かい  
国・自治体 38回

び じゅ つ かん どう かい  
美術館等 14回

ほう どう き ぎ よう かい  
報道・企業 37回

い つ ぱ ん し み ん かい  
一般市民 12回

た かい  
その他 12回

## そう だん ない よう べ つ 【相談内容別】

てん じ き かい どう じょう ほう てい き よう かい  
展示機会等の情報提供 24回

てん らん かい かい さい じよ げん かい  
展覧会開催への助言 38回

ぞう けい かつ どう じょう ほう てい き よう かい  
造形活動への情報提供 13回

さく ひん しゅ っ て ん り よう ちゅう かい どう かい  
作品出展(利用)の仲介等 72回

さく し ゃ しゅ ざ い し せつ ほう もん どう かん ちゅう かい どう かい  
作者取材、施設訪問等に関する仲介等 15回

けん り ほ ご かん じよ げん かい  
権利保護に関する助言 23回

た かい  
その他 18回

し が けん が い そう だん ぜん たい やく はん すう し  
○滋賀県外からの相談が全体の約半数を占めている

さく しゃ か ぞく どう てん じ き かい もと そう だん おお ち い き し げん  
○作者や家族等から展示機会を求める相談が多いが地域によっては資源  
がない場合がある

しょう が い ふく し じ ぎ よう しょ けん り ほ ご かん そう だん ひ かく て き おお  
○障害福祉サービス事業所からは権利保護に関する相談が比較的多い

の ま と く  
NO-MAやアイサの取り組みから  
み か だい  
見る課題

---

の ま と く み か だ い  
NO-MA、アイサの取り組みから見る課題

① さくひんしゅうぞう しゅうだん ほうほう かくりつ 作品収蔵の手段と方法の確立

- しゅうぞう ばしょ かくほ 収蔵場所の確保
- しゅうぞう さくひん せんてい ほうほう かくりつ 収蔵作品の選定方法の確立

② そうだん しえんき のう じゅうじつ 相談支援機能の充実

- ぞうけい かつどう さくひんでん じ き かい かん じょうほう ていきょう ぜんこく 造形活動や作品展示の機会に関する情報提供(全国的な情報の集積)

- みちか ちい き そうだん し く 身近な地域で相談できる仕組み

③ さくしや けんり かん けいはつ 作者の権利に関する啓発

- ちよさくけんとう はいりよ さくひん ちよさくぶつ りよう ほうほう しょうがい 著作権等に配慮した作品(著作物)利用の方法や障害福祉サービス事業所での造形活動における著作権等保護に関する啓発

④ じんざい いくせい 人材の育成

- しょうがいしやとう げいじゅつかつどう ささ じんざい いくせい 障害者等の芸術活動を支える人材の育成
- さくひん ひょうか はつしん おこな じんざい いくせい 作品の評価、発信を行う人材の育成

# の ま と く み か だ い NO-MA、アイサの取り組みから見る課題

## ⑤ 関係者間の交流支援

- ・ 障害者の造形活動支援について情報交換ができる障害福祉サービス事業所や病院等のネットワークの構築
- ・ 芸術分野の人材との出会いの場づくり(福祉と芸術の相互活用)

## ⑥ 芸術活動への参加促進

- ・ 障害者が芸術活動に参加する(始めようとする)ための情報提供
- ・ 公募展の実施、既存の公募展の活用(発表の場の確保)

## ⑦ 障害者にとどまらない取り組み

- ・ 障害や高齢などの属性にしばられない横断的な取り組みを可能とする仕組み

か だ い えいぞくてき と く たいせい ひつよう あんてい  
これらの課題に永続的に取り組むことのできる体制が必要(安定した  
うんえい  
運営)